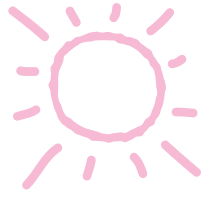


始めました



平成十八年、介護保険法の改正により新たなサービステル系が確立し、地域密着型サービステルが創設されました。それにより地域の特性に応じた多様な柔軟なサービステル提供が可能となりました。

足羽利生苑では、認知症対応型通所介護として、デイサービスセンター「きらく楽」を平成十九年四月にオープンしました。今号では、この「きらく楽」を紹介します。



「きらく楽」はどんな所？



少人数で家庭的な空間



縫い物に集中しています

「きらく楽」は、定員が少人数に設定されており、利用者の方同士や職員が、より親密にかかわれるようになっていきます。人数が少ないため、顔なじみになりやすく、お互い家族のようにのんびり過ごしてもらうことができます。親しい友達とのかかわりは心の安定につながります。

個別対応

対象となる利用者の方のこれまでの生活と現在の生活を大切に、活動には得意とすること・好きなことを取り入れています。これまで仕事でしてきたこと、趣味・特技などがあげられます。

本人やご家族からの話を基に、その方の望む活動を見つけて出し、行ってもらっています。

在宅生活につながる支援

役割をこなしていただくことにより、自宅での行動にも変化が現れるように支援していきます。

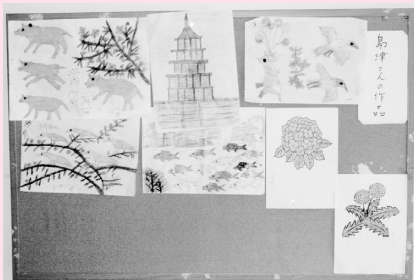
その方が今までの生活で培ってきたものは、頭や体にしっかりと残り残っています。何気ない日常生活の行為をしていただくことで、そういった過去の記憶に働きかけ、刺激を受けてもらいます。そうすれば、頭や体がいろいろなことを思い出し、それぞれの方がその人らしい役割を持って、自宅での生活を送ることにつながっていきます。

役割を持っていただく

利用者の方には、「きらく楽」での役割を持っていただくようにしています。例えば、ごはんをよそう、洗濯物を干すなどです。

以前は主婦として家事をこなしてきたけれども、現在は家庭での役割が少なくなってきた方もいます。そういった方に、ここで役割を持っていただき、それぞれの方に「きらく楽」を創りあげてもらっています。それは、かつての生活を思い出す刺激と意欲につながります。

「秋」



島津さんの作品の一部です。他にもまだまだたくさんあります。



絵が得意な島津さん。熱心に絵をかいています。

島津さんの作品

秋にはいろいろな楽しみ方があります。芸術の秋もその一つではないでしょうか。今回は利用者の方の創作活動の様子を紹介します。

芸術の秋

足羽利生苑編

秋

足羽福祉会

